



夢現プロジェクト、今年も盛況！

勝山高校普通科の生徒が1年間をかけて探究活動に取り組む「夢現プロジェクト」。今年度も各分野・学年から代表者が選ばれ、1月27日(水)勝山文化センターにて全体発表会が行われました！

【令和2年度夢現プロジェクト全体発表会 優秀賞受賞研究】

- ・「ケミカルライトの再利用について」(21HR 高下詢海 富岡真弘 仲涼太)
- ・「果たして日本の女性は太陽になれるのだろうか」
(23HR 大橋史歩 山本咲菜)
- ・「つまらないとは言わせない！生徒が熱中する授業」
(11HR 岡田愛子 13HR 藤原小春)



ただの[調べ学習]にならず[研究]にするためには、調べたことから問題解決に向けた提案等をすることが重要だと気付いた。また、実際の発表では限られた時間の中で自分たちの伝えたい内容を伝えることの難しさを痛感した。
今回の学びや失敗を生かして、来年もチャレンジしたい！

(実験の過程において)同じことを繰り返すだけでなく、能動的に変化を付けることでうまくいくこともあると感じた！

普段の生活でも考えながら生活すると、日常がちょっと面白くなった！



自分の中には伝えたいことがきちんとあっても、いざ言葉にするとなると難しい。研究の全体像を明確に示すことに苦労した。

他国との比較をすることで、興味関心を持ってもらえるように工夫した。発表後に頂いたアドバイスを参考に、もっと自分たちの身近な問題につながる研究をしていきたい。



ビジネス科 集大成の学習発表会！

12月23日(水)ビジネス科全学年による学習発表会が勝山文化センターで行われました！
今回は発表会に至るまでの授業の様子も含めてお伝えします！

1年生 職業インタビューの内容をプレゼンテーション方式で発表

2年生 インターンシップの内容をポスターセッション方式で発表

3年生 課題研究の内容をプレゼンテーション方式で発表

【1年生】

地域の小売業を中心に見学及びインタビューを実施。小売業の現状・経営の方法など実際の声を聞き、経営についての知識を深めるとともに、仕事に対するやりがいや地域に対する強い思いを感じることができました。



【2年生】

本年度はコロナの影響で1日だけのインターンシップとなりました。就業体験を通して働くことの大変さ、社会人としての心構えなど、机上の勉強では得られない体験をしました。

【3年生】

「商品開発」「販売実習」「地域研究」の3講座に分かれ、真庭地域の現状・課題を分析し、解決策をそれぞれの視点で研究してきました。

商品開発:真庭地域の特産品を使用した商品の開発及び販売活動。

販売実習:真庭地域で開催されている催しでの出店。

地域研究:真庭地域の特徴・特産品などの研究及び魅力発信方法の提案。

